

トーキョーワンダーサイト アーティスト・イン・夕張

今年も4人のアーティストたちが夕張に滞在して作品を制作します。

滞在期間 7月22日(月)~8月20日(火)

※アーティストによって滞在期間が異なります。

アーティスト紹介

遠藤 一郎

えんどう いちろう
1979年 静岡県生まれ



活動場所
旧緑小学校

昨年、「未来へ号」バスに乗って夕張を駆け巡った遠藤一郎。今年、旧緑小学校の校舎の壁面に子どもたちと一緒に大きな「太陽と笑顔」の絵を描きます。7月28日(日)、29日(月)の2日間、ぜひご参加ください。

永岡 大輔

ながおか だいすけ
1973年 山形県生まれ



活動場所
宮前町
連絡所跡地

昨年、永岡は夕張の方々の好きな本についてインタビューして映像作品を作りました。今年、夕張で集めた古布や廃材を使ってスペシャルなテント小屋「カンテリヒト」をつくり、より多くの方々とともに本と朗読のパーティーを開催します。パーティーでは、思い出に残っている家族の食卓を再現する「記憶のレシピ」の料理もみなさんと一緒に楽しもうと思います。パーティー終了後、テントは旧緑小学校の教室へ移して、子どもによる子どものための図書室として設置する予定です。

松本 力

まつもと ちから
1967年 東京都生まれ



活動場所
宮前町
連絡所跡地

昨年、松本は小学生の翔太君と出会いました。夕張におもちゃ屋がないと聞いて、「ないものは、つくっていこう」をテーマに、一緒におもちゃ屋さんを作ろうと提案しました。子どもたちによるおもちゃ屋さんを開く構想として、翔太君のお父さんと友達も一緒に話し合い、おもちゃをつくるワークショップを行いました。翔太君は飛行機や機械などが好きで、彼が絵に描いてくれた戦中の戦闘機「ゼロ戦」の小型モデルをダンボールを松本が作りました。今夏は、次世代の担い手である翔太君を中心に、共に「ゼロ戦」をモチーフに実際に乗り込める飛行機のモデルを作ろうと思っています。モノを作る過程を通して、夕張のみなさんとの交流の中で知ることになった、夕張のみなさんの中に求められるリーダーシップとは何かを考え続け、いろいろな方と話し合いたいと思っています。

mamoru

まもる
1977年 大阪府生まれ



活動場所
宮前町
夕張川周辺ほか

今年、はじめて夕張に行くmamoruは、音をつかったアート作品を作っているアーティストです。この夏、mamoruは、夕張を拠点にしたアートのプロジェクトとして「来曼(ライマン)研究会」を立ち上げます。夕張炭鉱の発見とも関わりのある、ベンジャミン・スミス・ライマンは明治時代に日本各地の石炭・石油・地質調査にあたったアメリカ人地質学者で、資料から浮かび上がる彼の人物などにも興味をひかれますが、彼が残した大量のメモや報告書の中には自筆のスケッチなども多く、それらを元に、また古地図などを調べることを通じて、過去と現在の違いをこえて、彼が夕張近辺で見た景色や、聞いた音などに迫りつつ、同時に夕張を知って行きたいと思っています。滞在の最後には、研究発表会を開きたいと思っています。

お問い合わせ：NPO 法人ゆうばりファンタ 0123-53-2637
<http://www.tokyo-ws.org>

ご協力をお願いします！

家に眠っている本・布地がありましたら、ぜひご提供ください。

古布回収：7月20日(土) まで

○ Tシャツ、タオル、シャツ、毛布など、色・柄、どんな種類の布地でもOKです。

× 下着、靴下、帽子はご遠慮ください。

古本回収：8月5日(月) まで

※ どんな本でもOKです。

なお、集まった本は、旧緑小に作られる、子どもによる子どものための図書室の蔵書になる予定です。

回収箱はこちらに設置しています

市営宮前浴場
図書コーナー(保健福祉センター内)
アディーレ会館1階

市の資源回収ボックスに入れて頂いてもOK!
若菜・沼ノ沢・南部・紅葉山各ふれあいサロン・南支所・文化スポーツセンター



イベントのご案内

テント完成お披露目会 &朗読パーティー

8月8日(木) 18:00 ~

会場：宮前町連絡所跡地のテント小屋

入場無料

多数の参加をお待ちしています。

7月22日(月)からテント小屋の制作開始

お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



子どもたちと“太陽と笑顔”の絵 ペインティング

7月28日(日)・29日(月)
会場：旧緑小学校

